

■平成26年度執行目標（達成状況） 教育部

部局	課・室	番号	執行目標項目	執行目標の内容	達成状況	主な成果・課題等	項目 (単位)	根拠計画 等	H26 実績値	H26 目標値
教育部	学校教育課	1	教育委員会制度 法改正に伴う研 究・調査	教育委員会制度法改正に伴う組織、権限等の影響を研究・調査する。	概ね達成	改正法施行日に向けて、全ての例規を期限内に改正施行。 今後は、改正法において新たに実施することとされた市長主宰の総合教育会議の実施や教育に関する大綱の策定に向けた取り組みを実施する。				
教育部	学校教育課	2	小中学校におけ る消耗品等の経 費節減	市立小中学校の予算軽減を目標とする。（各学校共通利用のコピー用紙等の一括契約の実施に向け、調査・検討を進める。）	一部未達成（成果小）	経費節減のため各学校における共通物品について、特に購入額が多いコピー用紙について参考見積を徴取し精査した結果、安価にはならなかった。 なお今後、経費節減に向けて学校と検討していきたいと考えている。				
教育部	学校教育課	3	教育振興基本計 画に基づく事業 の執行管理	平成25年度に策定した教育振興基本計画に基づく施策の進捗を管理する。 ・学校図書システムの全小中学校導入に向けての体制構築検討。・適応指導教室の指導体制の充実。 ・小学校英語教育指導体制の充実。・特別支援教育体制の充実。 ・学力向上の取組の充実（小学校ホップアップ事業の新設）。 ・幼稚園の安全対策設備（防犯カメラ等）の整備。等	優秀に達成（困難事項・成果大等）	適応指導教室は1日当たり4人から5人に指導体制を充実した。また特別支援、小学校英語教育ともに講師を増員し指導体制を充実した。幼稚園の防犯カメラについては、園児のいない時間帯に工事をする必要があり、若干設置が遅れたが稼働予定時期には間に合い、予定通り稼働した。学力向上の取組みとして新設したホップアップ事業については、必要な講師を確保し各小学校で補習学習を実施することができた。学校図書館システムについて導入の方向性を検討した結果、未導入の加茂・山城地区の小中学校すべてに平成27年度中に導入すべく予算要求等を行った。				
教育部	学校教育課	4	学校給食セン ターのあり方の 検討	今後の食数動向に対応できる運営体制を整備するため派遣社員の活用を検討する。 また、新たな給食センターの建設の必要性等を検証するため庁内連絡会議を設置する。	概ね達成	調理業務の派遣事業受け入れや、調理配送業務委託により学校給食の安定供給を図った。 庁内連絡会議を開催し、増加する食数や施設の老朽化への対策について協議を行った。 今後、学校給食センター施設のあり方について取りまとめを行う。				
教育部	教育施設整備室	1	恭仁小学校耐震 補強工事の実施	恭仁小学校耐震補強工事の実施 ・木津川市小中学校耐震化改修計画に基づき、平成27年度未完了を目指す。	全部未達成	理由：本年度に4回の入札を行ったが、いずれも入札不調となったため。 課題：工事金額に対して工期が長いため、施工業者の利益が少ない。 方針：工事費の再積算を行い工事費の増額を行う、また、工区の分割等により1工区当たりの工期を短縮する。	年度内工事出来高率（％）	木津川市小中学校耐震化改修計画	0	20
教育部	教育施設整備室	2	棚倉小学校改築 工事の実施	棚倉小学校改築工事の実施 ・木津川市小中学校耐震化改修計画に基づき、平成27年度未完了を目指す。	一部未達成（成果小）	理由：本年度、3回目の入札により施工業者が決定したため、本契約締結による前払い金の執行のみ。 課題：平成28年度に別途、解体、外構整備工事費の計上が必要。 今後の方向：平成27年度中に校舎棟を完成させ、平成28年末に解体、外構整備工事を完了するよう計画を変更する。	年度内工事出来高率（％）	木津川市小中学校耐震化改修計画	30	30
教育部	教育施設整備室	3	木津中学校解体、 グラウンド整備 工事の実施	木津川市小中学校耐震化改修計画に基づき、平成26年度未完了を目指す。 ・9月末までに解体工事の完了 ・グラウンド整備工事の年度内完了	優秀に達成（困難事項・成果大等）	当初の計画どおりに事業を進捗させ、工事を完了した。	年度内工事出来高率（％）	木津川市小中学校耐震化改修計画	100	100
教育部	社会教育課	1	生涯学習の充実 （生涯学習情報 誌の発行）	市民の生涯学習の多様化・高度化に対応して、情報提供を図るため、生涯学習情報誌を発行する。（隔年発行）	優秀に達成（困難事項・成果大等）	当初予定どおり生涯学習情報誌の完成・配布まで達成することができた。 また、前回（平成24年度）より内容の充実が図られた。 今後の検討事項として、印刷代（契約額1,107千円）の経費削減のため、業者発注、情報誌掲載内容の見直しを行っていく必要がある。				
教育部	社会教育課	2	地域で支える学 校教育推進事業	次の取組により、地域ぐるみで子どもを育てる体制基盤を確立し、学校の教育活動を支援する。 ・市内5中学校区で学校からの要請に基づいた支援の実施	概ね達成	市内5中学校区で学校からの要請に基づき支援を実施することができた。 今後の課題として、事業の充実を図るためにはコーディネーターの育成、ボランティアの確保が必要となる。				
教育部	文化財保護室	1	文化財保存・活 用計画の策定と 進行	文化財行政は、持続的な取り組みであり、景観、観光、教育、そしてまちづくりなどに関わる内容を有しており、テーマごとに周辺環境も含めて総合的に捉えていく必要があることから、文化財保護審議会を開催し、2か年（平成27年度まで）で文化財保存・活用計画を策定する。 また、市内文化財の保護・整備・調査等を進める。	概ね達成	・椿井大塚山古墳前方部北西部の石垣のゆるみに伴う修復のための発掘調査を終了。 平成27年度から修復に係る協議を文化庁並びに京都府と開始する。 ・鹿背山瓦窯跡盛土造成工事が完了し、平成27年秋ごろに開放予定。 ・文化財行政の基礎となる「文化財保存活用基本計画」を平成27年度に策定する。				

■平成26年度執行目標（達成状況） 教育部

部局	課・室	番号	執行目標項目	執行目標の内容	達成状況	主な成果・課題等	項目 (単位)	根拠計画 等	H26 実績値	H26 目標値
教育部	文化財保護室	2	文化財保護啓発事業の推進	各種団体等との連携による歴史学習の推進 〈新規〉学研立地企業への出前研修（木津川市古代・中世の歴史、大仏鉄道）	優秀に達成（困難事項・成果大等）	<ul style="list-style-type: none"> 各種団体や企業、小学校などからの講演依頼により、市内の文化財などを学習していただき、歴史・文化に関する理解を深めていただいた。 文化財は、人々との交流振興を生み、多くの人々のための歴史、文化教育や生涯学習、体験学習した生きた教材として活用することができる資源であることから、情報発信を進めていく。 				
教育部	文化財保護室	3	市内文化財の保全・修理事業の推進	神童寺・・・収蔵庫及び仏像修理（重文阿弥陀如来坐像等）、境内敷地区画の白壁保全修理 岡田鴨神社・・・本殿（檜皮屋根）、社殿の保存修理 相楽神社・・・環境保全地区環境整備	概ね達成	<ul style="list-style-type: none"> 神童寺：収蔵庫・仏像（5軀）修理、境内敷地区画の白壁保全修理完了 岡田鴨神社：本殿（檜皮屋根）・社殿の保存修理完了 文化財は本市の財産であり、地域の個性、独自性、特異性を表現することが出来る資源でもある。よって、今後も保存、活用して後世へ継承していくために、国や府の補助制度を積極的に活用しながら、保全・修理を行う。 				